

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長

(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

平成 28 年度病害虫発生予察注意報第 9 号を発表したので送付します。

平成 28 年度病害虫発生予察注意報第 9 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 病害虫名 黒穂病
- 3 発生地域 県内全域
- 4 注意報発令の根拠
 - (1) 1 月～3 月中旬までの県予察ほ場における調査の結果、累積発病株率は 7.3%であった。
 - (2) 3 月中旬の巡回調査の結果、株出の一部ほ場及び新植夏植の一部ほ場においても発生が確認された。
- 5 発生生態および被害
 - (1) 病原体は糸状菌の一種で、黒穂上の胞子は風や雨水で分散し、地上芽や地下芽に感染する(図 1、2)。
 - (2) り病茎は健全茎よりも草丈が長く細い。先端部は長い鞭状体(いわゆる黒穂)となる(図 3)。
 - (3) 発生は 4 月頃から見られ、5～7 月に多くなる。8 月に小発生になるが、10 月頃から再び増加する傾向がある。
 - (4) 株出回数が多くなるほど発病株率が高くなる。
 - (5) り病株から採苗すると植付後に発病し新植ほ場へ広がる。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) 発病株は鞭状体の出現前に抜き取り焼却を行う。
 - (2) 鞭状体の出現した茎は、胞子の飛散を防ぐために、ビニール袋をかぶせ抜き取り処分する(図 4)。
 - (3) 発病ほ場や隣接ほ場から採苗しない。
 - (4) 植付け時に薬剤により苗を消毒をする。
 - (5) 多発ほ場や放棄ほ場は早急に更新する。
 - (6) 抵抗性品種を植え付けるようにする。



図1 多発ほ場



図2 胞子



図3 り病茎



図4 抜き取り処分の様子

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0908-82-4933
ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>